

春

東北・夢の桜街道 桜の札所108ヵ所巡り

東北6県の桜の名所を『東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所』として選定し、多くの方に「東北への桜旅」をPRして東北に足を運んでいただく観光振興による地域づくり運動を提唱・推進しています。桜の札所は、被災地を中心とした番外編20先が追加され、現在108ヵ所となっています。人間には百八つの煩惱があると言われていますが、煩惱を一つ一つ振り払いながら、桜の札所を巡るのはいかがでしょうか。

春は、美しい桜に愛に、東北へ！



夏

東北祭り街道 50ヵ所巡り

東北の夏は、祭りが目白押し。伝統を受け継ぐ祭りや、地元ならではの祭りなど、どの祭りも熱気と興奮にあふれています。見るもよし、参加するもよし。祭りで地元の人たちとふれあえば、元気をもらえるはず。

夏は、熱気に包まれに、東北へ！



秋

東北酒蔵街道 100ヵ所巡り

東北には、上質で魅力あふれる日本酒を造り続ける蔵元が数多くあります。東北酒蔵街道(100蔵参加)では、「東北酒蔵美酒探究団」が酒蔵の魅力や、お酒に合う食などの情報をホームページで紹介しています。秋からの新酒シーズンには、味わいを楽しみに、東北へ！

東北酒蔵街道周辺にある、紅葉や温泉の名所も紹介しています。心も体も癒される東北酒蔵旅に出かけてみませんか。



酒蔵周辺の紅葉スポット(49ヵ所)

酒蔵周辺の温泉スポット(49ヵ所)



冬

東北雪見街道 30ヵ所巡り

東北の冬は、長く、そして厳しい。雪化粧をした山々、冷たく静かな空気、冬の東北には、そこでしか感じられない情緒があります。「東北雪見街道」は、かまくらや樹氷など冬の風物詩“雪見”ができる場所を30ヵ所選定しています。

冬は、雪が織りなす絶景に会いに、東北へ！



季節を楽しむ体験型の街道巡り

四季感動の東北往還道



※詳しい情報はホームページをご参照ください。

SNSを活用して情報発信！

Facebookグループ「みんなで巡る・桜の札所」では、桜の札所の魅力を発信しています。他のメンバーの投稿から、次の行き先を決めてみては。



共有する

美しい写真や動画から“行ってみたい!”人を増やす！

折り畳み携帯マップや公式ホームページには、札所の詳しい情報や美しい桜の写真・動画が満載。



知る

花より“だんご”もご紹介！

ホームページやアプリで、桜の札所近隣の信用金庫職員が選んだ“食”の逸品情報をご紹介します。



桜の札所周辺には“酒蔵”も！花見酒が楽しめそう。ホームページやナビアプリでチェック！



寄ってみる

東北・夢の桜街道運動の一部をご紹介

調べる・計画を立てる

ルートもラクラク！ 開花情報もキャッチ！

アプリ“東北桜旅・酒蔵旅ナビ”とPC版Myルートガイド“東北桜旅ナビ”では、札所の開花情報や観光スポットが地図上にピンで表示されます。



PC版Myルートガイドは、行きたい所を選ぶと自動的に最適ルート・時間が表示されます。

ホームページでは桜の札所の開花情報を公開しています。

「桜で“福幸”スタンプラリー」で東北めぐり！

桜を楽しみながらスタンプを集めましょう！完全制覇すると認定証が贈られます。

東北酒蔵街道の活動紹介



(温泉・祭り・雪見)

携帯マップ(酒蔵・紅葉)

「東北桜旅・酒蔵旅ナビ」アプリ



台湾での東北感謝祭



ミス日本酒もPRに一役

インバウンド拡大施策



東北・夢の桜街道号

台湾の地下鉄車体広告(観光庁)



香港の旅行雑誌に紹介



成田空港国際線ロビーでのパネル展



英語版ホームページ制作

東北夢の桜街道

～桜の札所・八十八ヵ所巡り～

東北・夢の桜街道運動について

「東北・夢の桜街道運動」は、東日本大震災による東北地域の社会的、経済的なダメージを、少しでも復興支援していきたいという考えから始まりました。ひとりでも多くの方に東北に足を運んでいただくことが復興支援につながると考え、日本人が愛してやまない“桜”に着目し、『東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所』を選定してネットワーク化するとともに、行政をはじめ、交通・旅行業界、情報通信、出版社、金融機関等との連携・協働により、交流人口の増加を目指した「桜の札所巡り」運動をスタートさせました。また、国の助言を得て、官民連携・協働推進による「東北・夢の桜街道推進協議会」が組織され、推進体制が整備・強化されました。その後、春の桜以外に、秋からの新酒シーズンの酒蔵、夏祭り、雪見スポット等を選定し、『四季感動の東北往還道』として、通年で東北復興支援が行えるようにしています。

東日本大震災から時間が経った今も、東北地域の人口や経済は震災前の水準に戻っていません。私たちは、これからも多くの方が東北地域を訪れるよう、またインバウンドの拡大に向けた取り組みを強化し、東北地域の魅力づくりや、その魅力を伝える運動を推進していきたいと考えています。